



阿賀野川あきはなびまつりのスターマイン（昨年10月開催）

にいつホサト  
スターマイン

2021. 1  
vol. 838



毎月1回  
発行

発行所 / 新津商工会議所  
 編集発行人 / 田村 一夫  
 〒956-0864  
 新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号  
 TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332  
 Email: n-cci@fsinet.or.jp  
 URL http://www.niitsu.or.jp/

今月号の紙面

- ・役員・議員・振興委員
- ・紙上名刺交換
- ・各種団体
- ・年末調整個別相談会



新年のご挨拶

新津商工会議所会頭

前田 正実

明けましておめでとーございます。  
 令和三年の新春を迎え、謹んで皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

昨年一年間は、世界中の人々が翻弄され、混沌とした年でした。一昨年末に「新型コロナウイルス感染症」が確認されて以降、この未知のウイルスは、瞬く間に世界中に広がり、当地でも多数の感染者が出ています。こうした中、昨年末には国外の一部でワクチンの接種が開始され、我が国でも安全を最優先とした接種が望まれるところですが、今はただ、一刻も早い終息を祈るばかりです。

医学や衛生面における長足の進歩にもかかわらず世界中の人々を不安に陥れたこのウイルスは、私たちの生活や経済にも大きな影響をもたらしました。密閉・密接・密集のいわゆる「3密」を避け、日常の手洗い、うがいなどもとより、常時のマスク着用、随時の検温、至るところでの消毒、換気を心がけることが新たな生活習慣となり、こうした一連の動きを始めとして、従来の仕事のあり方や価値観も大きく変わりました。

また、当所が昨春行った会員事業所へのアンケートやヒアリングでも、既に様々な業種、業態に新型コロナウイルスの悪影響が及んでいることがクローズアップされていきましたが、とりわけ影響度合の大きかったのは飲食店や小売店でした。

これに対し、当所では、地域の皆さんの協力のもと、お店に足を運んで商品を購入してもらいたいとの思いで「テイクアウトフェア」を他の会議所に先駆けて実施しました。その後、当所のホームページ上に「NIITSU テイクアウトどっとこむ」として常設サイトを化し、現在も継続をしております。

また、お店側にも「ウイズコロナ」の時代に合わせた対策や工夫などが施され、難局を乗り越えていくという堅固な意思も随所で見られました。

さらに当所では、この機に様々な業務の見直しを図る中で、テレビ会議を常態化させたり、テレワークの導入にも動きました。

一方、ものごとが大きく変わろうとしている中でも、会議所の本質的な役割だけは変わることがないことも確認できました。

当所では、新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を常時開設していますが、春先の爆発的な相談件数の増加と職員の不休の対応を振り返るにつけ、会員事業

所に寄り添った対応が会議所の本分であることを改めて認識したところです。

今年も会議所では、会議所法に規定された「商業の総合的な発展」と「社会福祉の増進」に基づき「会員企業の発展」と「地域の活性化」の二つを最重要の柱に据えてまいります。地域の商工業者の皆さんの意見や要望に真摯に耳を傾けながら、会議所の本分を全うしてまいります。

さて、新型コロナウイルス禍の様相とは異なりますが、明治維新という混沌とした時代の中にあつて、銀行・金融制度の早期確立をはじめ我が国の産業化、資本主義の発展の上で、福沢諭吉と並び傑出した役割を演じたのが渋沢栄一翁です。翁はまた、明治十一年に東京商法会議所を設立したことも知られ、その後身の東京商工会議所でも永年会頭を務め、商工業の地位の向上と発展に尽力しています。

その翁は生涯にわたり今日に通ずる数々の金言を遺しています。「真正の利殖は仁義道徳に基づかなければ、決して永続するものではない」ともその一つ。ビジネスとは、商売や工業で利益を得ようとする。利益を得られないのであれば、商工業をする意味がない。かといって利益だけを追求しては世の中での支持は得られない。お金はよく集めて、よく使い、社会を活発にして、経済活動の成長を促してこそ価値がある、と。

今こそ、この渋沢翁の精神に基づき、各自がその立場や身の丈に応じて地域の活性化を実践していくことが必要ではないでしょうか。

当会議所は、これからも地域や企業から信頼され期待される存在となるべく、新しい年も地道に事業活動を進めてまいります。

新型コロナウイルス禍においても、時計の針はしつかりと時を刻んでいます。幸い、昨年末より、まちなかをはじめ地域のさまざまなことから関しても秒針が進むように少しずつ動きが出ています。

「冬きたりなば春遠からじ」この精神が体の中にもみ込んでいる当地の人々。昨年は中止を余儀なくされた各種のイベントや行事も今年は何とか開催できることを願っています。しばらくは「ひたすら忍」の一字。今はただ全世界のコロナ終息、春の到来を待ち望むばかりです。

会員の皆様方、地域の皆様方のご隆盛とご多幸をお祈りいたしまして新年のご挨拶と致します。